

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problems Mailbox.**

## 特許・実用検索 2)特許・実用新案文献番号索引照会

メニュー

照会画面

ニュース

ヘルプ

文献番号一覧

	1	2	3	4	5
出願番号	特許出願平08-147617				
公開番号	特許公開平09-330329				
公告番号					
審判番号					
特許番号	特許2956587				

表示する公報を文献種別より選択してください。

●文献種別

公開

●表示種別

全頁

リスト

照会可能範囲

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-330329

(43) 公開日 平成9年(1997)12月22日

(51) Int.Cl.<sup>5</sup>

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

G 0 6 F 17/30

G 0 6 F 15/40

3 7 0 C

G 0 6 T 1/00

15/62

3 3 5

審査請求 有 請求項の数 7 O L (全 21 頁)

(21) 出願番号

特願平8-147617

(22) 出願日

平成8年(1996)6月10日

(71) 出願人 000003193

凸版印刷株式会社

東京都台東区台東1丁目5番1号

(72) 発明者 佐藤 孝也

東京都台東区台東1丁目5番1号 凸版印刷株式会社内

(72) 発明者 石田 寛

東京都台東区台東1丁目5番1号 凸版印刷株式会社内

(72) 発明者 村田 岳彦

東京都台東区台東1丁目5番1号 凸版印刷株式会社内

(74) 代理人 弁理士 川▲崎▼ 研二

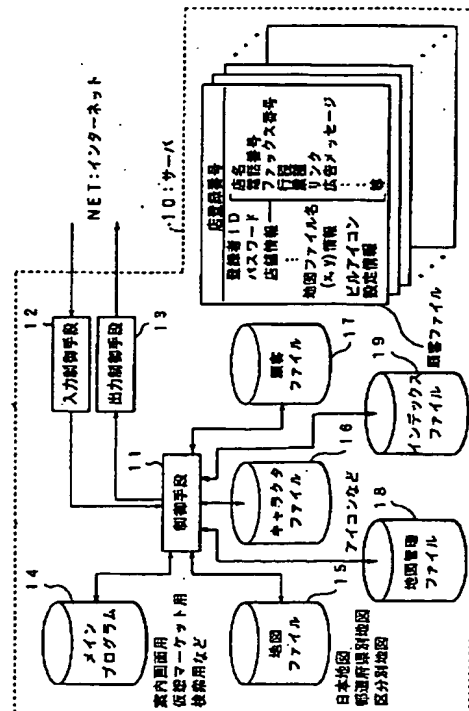
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 広告情報の登録方法および供給方法

(57) 【要約】

【課題】 店舗が密集する地域において、円滑に広告の提供を行う。

【解決手段】 広告依頼者の端末に対して制御手段11は、広告情報の入力进行を促すとともに、地図上において広告対象物の位置指定を促す。そして、広告対象物の座標を、入力された広告情報と関連づけて記憶手段17に格納する。また、新たに登録する広告対象物の座標を中心とする所定範囲内に既に登録されている広告対象物部がある場合にはビルアイコン設定情報を記憶手段17に格納する。一方、広告受給者の端末に対して制御手段11は、地図とともにビルアイコンおよび通常アイコンを表示する。ここで、ビルアイコンが選択されれば、当該ビルアイコンに対応した広告対象物の名称を表示して、所望する広告対象物の選択を促し、選択された広告対象物に関連づけられた広告情報を読み出し、読み出された広告情報を、広告受給者の端末に対して出力する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 コンピュータシステムにより広告情報の登録を行なう広告情報の登録方法において、予め記憶された地図情報に基づいて地図を表示して、当該地図上において広告対象物の位置指定を促す段階と、前記地図上において位置指定された広告対象物の座標を、入力された広告情報と関連づけて逐一記憶する段階と、既に登録されている広告対象物の座標を読み出して、新たに登録する広告対象物の座標を中心とする所定範囲内に既に登録されている広告対象物の座標が含まれるか否かを判定する段階と、前記所定範囲内に既に登録されている広告対象物の座標が含まれていると判定された場合には、1つの広告対象物が存在することを示す第1のアイコンの代わりに、複数の広告対象物が存在していることを示す第2のアイコンを表示することを指示する情報を記憶する段階とを備えたことを特徴とする広告情報の登録方法。

【請求項2】 コンピュータシステムにより広告情報の供給を行なう広告情報の供給方法において、広告依頼者に対しては、予め記憶された地図情報に基づいて地図を表示して、当該地図上において広告対象物の位置指定を促す段階と、前記地図上において位置指定された広告対象物の座標を、入力された広告情報と関連づけて逐一記憶する段階と、既に登録されている広告対象物の座標を読み出して、新たに登録する広告対象物の座標を中心とする所定範囲内に既に登録されている広告対象物の座標が含まれるか否かを判定する段階と、前記所定範囲内に既に登録されている広告対象物の座標が含まれていると判定された場合には、1つの広告対象物が存在することを示す第1のアイコンの代わりに、複数の広告対象物が存在していることを示す第2のアイコンを表示することを指示する情報を記憶する段階とを備え、一方、広告受給者に対しては、記憶された前記地図情報に基づいて当該地図を表示するとともに、前記第2のアイコンを表示することを指示する情報が記憶されている広告対象物については前記第2のアイコンを、当該情報が記憶されていない広告対象物については前記第1のアイコンを、記憶された広告対象物の座標に対応して各々表示して、所望する広告対象物の選択を促す段階と、選択された広告対象物に関連づけられた広告情報を読み出す段階と、読み出された広告情報を、前記広告受給者に対して出力する段階とを備えることを特徴とする広告情報の供給方法。

【請求項3】 前記所望する広告対象物の選択を促す段

階にあって、前記第2のアイコンが選択された場合には、当該第2のアイコンに対応する複数の広告対象物の前記広告情報に基づいて、当該複数の広告対象物の名称を表示することを特徴とする請求項2に記載の広告情報の供給方法。

【請求項4】 前記第2のアイコンに対応する複数の広告対象物の名称をリスト表示することを特徴とする請求項3に記載の広告情報の供給方法。

【請求項5】 前記所望する広告対象物の選択を促す段階にあって、前記第2のアイコンが選択された場合には、拡大された地図を表示するとともに、当該第2のアイコンに対応する複数の広告対象物が存在する位置に、前記第1のアイコンを各々表示することを特徴とする請求項2に記載の広告情報の供給方法。

【請求項6】 前記所望する広告対象物の選択を促す段階にあって、前記第2のアイコンが選択された場合には、前記第2のアイコンに対応する建物の各階別の見取図を表示するとともに、当該第2のアイコンに対応する複数の広告対象物を前記第1のアイコンを用いて各階別に各々表示することを特徴とする請求項2に記載の広告情報の供給方法。

【請求項7】 前記第2のアイコンに対する広告対象物の数を計数し、前記第2のアイコンに隣接してこの数を表示することを特徴とする請求項2ないし請求項6のいずれか1項に記載の広告情報の供給方法。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、コンピュータシステムを用いた情報供給方法に関わり、特に、階層的な検索を行ない地図を表示させ、この地図上に表示される広告対象物の広告情報を供給する情報供給方法に関する。

## 【0002】

【従来の技術】 従来より、印刷物（出版物、イラストマップなど）等を用いて、地図上に商店等の位置を掲載し、併せて、商店等の広告内容を別欄・別頁に掲載して、当該商店等の広告を行なうことは知られている。また、これらの情報を記憶媒体（CD-ROM、フロッピーディスクなど）に記憶させて、市場に流通させ、コンピュータシステムの端末に表示させて広告を行なうことも知られている。さらに、また、テレビ、ラジオ等の一方向メディアにより、視聴者、聴取者に対して広告を行なうことも知られている。

【0003】 しかしながら、印刷物や記憶媒体を用いて広告を行なう方法では、広告依頼から実際に印刷物・記憶媒体が頒布・流通するまでの期間において、数週間から数カ月程度のタイムラグが生じ、このため、情報としての新規性・信頼性等が失われやすい、という問題がある。例えば、広告依頼時には、通常通り営業をしていた商店が、実際に印刷物が頒布された時点では、営業を取り止めてしまっている場合がある。かかる場合、当該印

刷物全体に対して信頼性が低下し、広告供給者への不信感を招くばかりでなく、広告を受ける消費者等の側にも混乱が発生するという問題がある。

【0004】また、一方向メディアでは、新規性や信頼性について、ある程度は確保できるものの、視聴者・聴取者の反応が得にくいといった問題や、広告料が概して高価であり、手続的にも複雑であるため、小規模な事業形態の広告依頼者では広告が出し難いといった問題もある。

【0005】そこで、これらの問題点を解決するため、本出願人は、インターネット等の通信ネットワークを利用したコンピュータシステムにより、広告情報の供給を行なう広告情報の方法およびそのために広告情報を登録する広告情報の登録方法を先に提案した（平成7年7月14日出願、特願平7-179227号）。この方法によれば、広告依頼者がコンピュータ端末を操作して、インターネット上の広告サービスページに接続すると、対話形式で上層の地図→中層の地図→下層の地図といったように地図を選択することができる。この場合、広告依頼者は、自己の店舗が属する地図を選択する。そして、その地図上の一点を指定して所定の操作を行うと、そこにアイコン化された店舗とその店舗に関する広告情報を登録できるようになっている。そして、広告受給者が広告サービスページに接続し、所望の地域の地図を選択し、さらにその地図からアイコン化された店舗を選択すると、当該店舗に関する情報が表示されるようになっていく。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】ところで、例えば、駅ターミナルの周辺には、喫茶店、服飾店あるいは食料品店といった各種の店舗が入居しているビルが数多くある。また、繁華街や商店街では、多数の店舗が隣接している。このように店舗が密集している地域にあつては、上述した方法で複数の広告依頼者が登録を行うと、アイコン化された店舗が重なってしまうことがある。例えば、同じビル内に入居している〇〇喫茶店と××喫茶店とが登録されているとすれば、図25に示すようにアイコン化された〇〇喫茶店と××喫茶店が地図上で重なってしまう。このため、画面が非常に見づらく、いずれか一方を選択するのが困難で、広告の提供が円滑になされないといった問題があつた。

【0007】本発明は、上述した問題に鑑みてなされたもので、その目的とするところは、店舗が密集するような地域においても、広告の登録や提供を円滑に行うことを目的とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するため請求項1に記載の発明にあつては、コンピュータシステムにより広告情報の登録を行なう広告情報の登録方法において、予め記憶された地図情報に基づいて地図を表示

して、当該地図上において広告対象物の位置指定を促す段階と、前記地図上において位置指定された広告対象物の座標を、入力された広告情報と関連づけて逐一記憶する段階と、既に登録されている広告対象物の座標を読み出して、新たに登録する広告対象物の座標を中心とする所定範囲内に既に登録されている広告対象物の座標が含まれるか否かを判定する段階と、前記所定範囲内に既に登録されている広告対象物の座標が含まれていると判定された場合には、1つの広告対象物が存在することを示す第1のアイコンの替わりに、複数の広告対象物が存在していることを示す第2のアイコンを表示することを指示する情報を記憶する段階とを備えたことを特徴とする。

【0009】また、請求項2に記載の発明にあつては、コンピュータシステムにより広告情報の供給を行なう広告情報の供給方法において、広告依頼者に対しては、予め記憶された地図情報に基づいて地図を表示して、当該地図上において広告対象物の位置指定を促す段階と、前記地図上において位置指定された広告対象物の座標を、入力された広告情報と関連づけて逐一記憶する段階と、既に登録されている広告対象物の座標を読み出して、新たに登録する広告対象物の座標を中心とする所定範囲内に既に登録されている広告対象物の座標が含まれるか否かを判定する段階と、前記所定範囲内に既に登録されている広告対象物の座標が含まれていると判定された場合には、1つの広告対象物が存在することを示す第1のアイコンの替わりに、複数の広告対象物が存在していることを示す第2のアイコンを表示することを指示する情報を記憶する段階とを備え、一方、広告受給者に対しては、記憶された前記地図情報に基づいて当該地図を表示するとともに、前記第2のアイコンを表示することを指示する情報が記憶されている広告対象物については前記第2のアイコンを、当該情報が記憶されていない広告対象物については前記第1のアイコンを、記憶された広告対象物の座標に対応して各々表示して、所望する広告対象物の選択を促す段階と、選択された広告対象物に関連づけられた広告情報を読み出す段階と、読み出された広告情報を、前記広告受給者に対して出力する段階とを備えることを特徴とする。

【0010】また、請求項3に記載のこの発明にあつては、前記所望する広告対象物の選択を促す段階にあつて、前記第2のアイコンが選択された場合には、当該第2のアイコンに対応する複数の広告対象物の前記広告情報に基づいて、当該複数の広告対象物の名称を表示することを特徴とする。また、請求項4に記載のこの発明にあつては、前記第2のアイコンに対応する複数の広告対象物の名称をリスト表示する。

【0011】また、請求項5に記載の発明にあつては、前記所望する広告対象物の選択を促す段階にあつて、前記第2のアイコンが選択された場合には、拡大された地

図を表示するとともに、当該第2のアイコンに対応する複数の広告対象物が存在する位置に、前記第1のアイコンを各々表示することを特徴とする。

【0012】また、請求項6に記載の発明にあつては、前記所望する広告対象物の選択を促す段階にあつて、前記第2のアイコンが選択された場合には、前記第2のアイコンに対応する建物の各階別の見取図を表示するとともに、当該第2のアイコンに対応する複数の広告対象物を前記第1のアイコンを用いて各階別に各々表示することを特徴とする。また、請求項7に記載の発明にあつては、前記第2のアイコンに対する広告対象物の数を計数し、前記第2のアイコンにこの数を隣接して表示することを特徴とする。

#### 【0013】

【発明の実施の形態】まず、本発明の実施形態の説明をする前に、本願発明の位置付けを説明する。広告とは、ある者がその者の商品・サービス等に関し、その消費者等に成り得る者に対して宣伝等を行なうことであるが、その情報の提供は、第三者を介して行なわれることもある。本願発明は、このような「第三者」に相当する部分である。次に、このような本願の位置付けを考慮して、以下の説明で使用する字句等の意味が定められる。例えば、以下の説明では、広告情報を提供する者、すなわち広告をしたい者を「広告依頼者」とし、広告情報の提供を受ける者、すなわち消費者等に成り得る者を「広告受給者」としている。ここで「広告依頼者」を「広告提供者」としなかったのは、「広告受給者」から見れば、本願発明も「広告依頼者」も同じ「広告提供者」となつて、混同を生じるおそれがあるからである。

#### 【0014】A. 第1実施形態

##### 1: 全体構成

以下、本発明における一実施形態について図面を参照して説明する。図1は、第1実施形態の構成を示すブロック図である。この図において、符号10はサーバであり、経路制御装置、電話回線を経由してインターネットNETに接続されている。符号101、102、…は各種の端末であり、サーバ10と同様にしてインターネットNETに接続される。ここで、端末101、102、…は、それぞれCRTやLCD等の表示部とともに、キーボード、マウス等の入力部を有する。

【0015】次に、サーバ10の詳細構成について説明する。図2は、サーバ10の構成を示すブロック図である。この図において、符号11は制御手段であり、CPU等から構成され、各部の制御や、データの転送、種々の演算、データの一時的な格納等を行なう。符号12は入力制御手段であり、インターネットNETを介して接続された端末から入力されるデータを制御する。符号13は出力制御手段であり、端末に出力されるデータを制御する。符号14～19はいずれも記憶手段であり、それぞれ以下のファイルが格納、記憶されている。

【0016】まず、記憶手段14には、メインプログラムが記憶されている。かかるメインプログラムは、制御手段11において用いられるものであり、例えば、端末の表示部に案内画面を表示させるプログラムや、地図上に所望とする業種の店舗のみを表示させる仮装マーケット用プログラム、文字検索により必要な情報を得るための検索用プログラムの他、短時間に大量の情報を取得することを防止するためのダウンロード防止プログラム等から構成される。この記憶手段14には、端末101、102、…から送信されてきた広告に関する感想等の情報が一時的に格納される。

【0017】次に、記憶手段15には、地図ファイルが記憶されている。本実施形態における地図ファイルは、3層の階層構造であつて、上層は日本地図であり、中層は都道府県別の地図であり、下層は区分（例えば、市町村単位、繁華街単位）地図である。なお、各層の地図は、いずれもビットマップ形式で表わされ、各地図毎にファイル名が定められている。

【0018】また、記憶手段16には、キャラクタファイルが記憶されている。かかるキャラクタファイルは、表示用文字データや、アイコンのビットマップデータ等から構成されており、後述する動作の際に参照されるようになっている。また、この例におけるアイコンは、通常アイコンとビルアイコンに大別される。通常アイコンは、一つのアイコンで一つの店舗を示し、一方、ビルアイコンは一定範囲内に複数の店舗があることを示す。通常アイコンのビットマップデータは、それぞれ業種毎に異なつて記憶されている。また、ビルアイコンは通常アイコンの色と相違するようにそのビットマップデータが作成される。例えば、通常アイコンが赤色で表示されるとすれば、ビルアイコンは黄色や緑色といった目立つ色で表示される。これによりディスプレイ上の通常アイコンとビルアイコンとを一見して区別することができる。

【0019】また、記憶手段17には、顧客ファイルが記憶される。顧客ファイルは、店登録番号毎に作成されるものであり、1つの店登録番号に対応する顧客ファイルは、登録者ID、パスワード、店舗情報、地図ファイル名、(x, y)情報、ビルアイコン設定情報等のように各店舗固有の情報から構成される。このうち、店舗情報は、さらに店名や、電話番号、ファックス番号、(最寄り駅から店舗までの)行程、店舗の業種を示す業種情報、(他の情報と結びつける場合に、参照すべきネットワーク上の情報の行先を示す)リンク情報、(広告の内容を示す)広告メッセージ等のように、広告対象の店舗に関する種々の情報から構成される。本願の広告情報とは、狭義では広告メッセージを指すが、広義には、店舗情報よりも上位であつて、顧客ファイル作成に必要な情報のすべてを指す。なお、店登録番号は、端末からの登録があつた場合に、制御手段11により自動的に付与されるものである。また、地図ファイル名と(x, y)情

報とは、店舗の位置が、ビットマップ形式の地図ファイルにおいてどの地点（座標）であるかを示す情報である。この例における店舗には、商品を取り扱うものの他、サービスを提供する施設（例えば、コンサートホール）や公共施設も含まれる。また、ビルアイコン設定情報は、当該店舗がどのビルアイコンに対応するかを指示する情報であり、通常アイコンで店舗を表示する場合には設定されない。したがって、ビルアイコン設定情報を参照することによって、その店舗をビルアイコンを用いて表示するか否か、また、その店舗がどのビルアイコンと関連づけられているかが分かる。

【0020】また、記憶手段18には、地図管理ファイルが記憶される。図3にそのデータ構造を示す。この地図管理ファイルは、地名ファイル、駅名ファイルおよび目標物名ファイルから構成されている。まず、地名ファイルには、地名と、当該地名に対応した地図ファイル名および座標値とを一組とする情報が、予め記憶される。この座標値は、当該地図ファイルにおいて当該地名がどの地点（座標）であるかを示す情報である。したがって、この地名ファイルを参照すれば、地名から表示すべき地図情報を特定することができる。

【0021】次に、駅名ファイルには、駅名と、当該駅名に対応する地図ファイル名および座標値とを一組とする情報が、予め記憶される。この座標値は、当該地図ファイルにおいて当該駅名がどの地点（座標）であるかを示す情報である。したがって、この駅名ファイルを参照すれば、駅名から表示すべき地図情報を特定することができる。

【0022】また、目標物名ファイルには、目標物名と、当該目標物名に対応する地図ファイル名および座標値とを一組とする情報が予め記憶される。この座標値は、当該地図ファイルにおいて当該目標物がどの地点（座標）であるかを示す情報である。したがって、この目標物名ファイルを参照すれば、目標物名から表示すべき地図を特定することができる。なお、目標物名には、具体的な建物の名称だけでなく、公園の名称や図3に示す電気街のように一定の地域を示す名称も含まれる。

【0023】また、図2に示す記憶手段19には、インデックスファイルが記憶される。そのデータ構造を図4に示す。図に示すようにインデックスファイルは、店登録番号毎に作成され、そこには、上述した顧客ファイルから抽出したキーワードが記憶される。したがって、このインデックスファイルを参照すれば、キーワードから店登録番号を特定することができる。

#### 【0024】2：動作説明

次に、本実施形態の動作について説明する。ここで、端末101、102、…は、それぞれサーバ10と接続されて通信を行ない、いずれも広告依頼者の端末としても、広告受給者の端末としても機能するが、説明便宜上、サーバ10には端末101が接続されたとして、以

下説明を行なう。サーバ10に端末101が接続されると、制御手段11は、この接続を入力制御手段12を介して検知し、メインプログラムにしたがって端末101を制御する。図5、図8および図9は、かかるメインプログラムの動作を示すフローチャートである。

#### 【0025】2-1：登録

まず、顧客ファイルの作成過程を説明すべく、端末操作者が新規の広告依頼者（あるいはその代理人）であるとする。

##### 2-1-1：新規登録

まず、図9に示したステップS1において、制御手段11は、端末101の表示部に対し、図6に示すようなメインメニュー画面を表示させ、端末操作者に対して、本実施形態の処理である「地図」、「仮想マーケット」、「検索」、および「登録」の中から所望する処理を選択するように促す。かかる、メインメニュー画面においては、マウスカーソルMCが表示され、所定の場所をクリックすることにより、種々の操作を行なえるようになっている。例えば、ボタン211～214のいずれかの表示領域に、マウスカーソルMCを位置させてクリックすれば、当該表示領域で示された処理が行なわれ、また、三角形のボタン22U、22D、22L、22Rの表示領域に、マウスカーソルMCを位置させてクリックすれば、当該三角形の頂点で定まる長方形の表示エリアが、それぞれ上、下、左、右にスクロールするようになっている。

【0026】ここでは、端末操作者は、マウスカーソルMCをボタン214の表示領域に位置させた後、クリック操作を行なって「登録」の処理を選択する。すると、これを検知した制御手段11は、手順を図5に示したステップSb1に進ませて、端末101の表示部に対し、図7に示すような登録メニュー画面を表示させるように制御する。なお、この登録メニュー画面においては所定の操作により、メインメニュー画面（ステップS1）に戻ることができるようになっている。また、以下のステップSb2～Sb15では、所定の操作によって、いつでも、この登録メニュー画面に戻ることができるようになっている。

【0027】さて、この登録メニュー画面には、「新規登録」、「既登録の更新」、「既登録の削除」の各処理に対応するチェックボタン231～233が示されて、端末操作者に対し、いずれかの処理を選択するように促される。これに対応して、端末操作者は、「新規登録」の処理を選択すべく、マウスカーソルMCをチェックボタン231の表示領域に位置させてクリックし、次に入力ボックス242の表示領域に位置させてクリックした後、入力部により登録者IDを入力する。この後、同様に、端末操作者は、マウスカーソルMCを入力ボックス243の表示領域に位置させてクリックした後、入力部によりパスワードを入力する。そして、これらの操作が

完了すると、端末操作者は、その旨をサーバ10側に伝えるべく、マウスカーソルMCをボタン25の表示領域に位置させてクリックする。

【0028】かかる操作により、手順がステップSb2に進み、制御手段11は、重複登録を避けるべく、入力された登録者IDとパスワードとがすでに使用されているか否かについて、すでに作成した顧客ファイルを検索することによりチェックする。ここで、制御手段11は、すでにこれらが使用されていると判定すれば、手順をステップSb15に進ませ、端末101の表示部に対して「IDかパスワードが不正である」を旨を表示させる制御をした後、手順をステップSb1に戻して再び登録メニュー画面を表示させる。一方、制御手段11は、使用されていないと判定すれば、次のステップSb3の処理を行なう。

【0029】ここでステップSb3の処理を図8に示すフローチャートを用いて詳述する。まず、制御手段11は、端末101に対して位置指定画面を表示させる制御を行なって、端末操作者に対し、広告すべき店舗の位置指定を促す（ステップS100）。ここで表示される地図は、記憶手段15に記憶された地図ファイルに基づくものである。この場合に操作者の端末には、例えば、図13に示す区分地図が表示される。そして、端末操作者が、表示された地図上において、広告の対象となる店舗の位置を、マウスカーソルMCにより指しクリックする。すると、制御手段11は、この地図を示すコードと、この地図上において指定された位置の座標を示す（x、y）情報とを取得する（ステップS110）。

【0030】この後、制御手段11は、店舗の指定位置を中心として一定範囲内に既に登録された店舗があるか否かを判定する（ステップS120）。このため、制御手段11は記憶手段17に格納されている顧客ファイルにアクセスして所定範囲内に既に登録されている店舗の数を検出する。なお、所定範囲は、複数のアイコンを表示した際に、それらが重なることによってアイコンが区別できなくなる範囲に設定される。この場合、店舗の数が1以上あれば、判定結果はYESとなり、ステップS130に進んでビルアイコンの登録が行われる。まず、所定範囲にある既登録の店舗の数が1であるならば、顧客ファイルにアクセスして、当該既登録の店舗に対応する店登録番号の記憶領域にビルアイコン設定情報を書き加える。また、ステップS100において新たに位置指定がなされた店舗については、顧客ファイル中に店登録番号が存在しないから、ビルアイコン設定情報を後述する広告情報とともに新たな店登録番号を付与して、顧客ファイルに書き込む。次に、所定範囲内に既登録の店舗の数が2以上であるならば、当該既登録の店舗については既にビルアイコン設定情報が登録されているから、新たな店舗についてのみビルアイコン設定情報の登録を行う。こうして、ビルアイコンの登録が終了すると、図5

に示すステップSb4に進む。また、所定範囲内に既登録の店舗が存在しない場合には、ステップS120の判定結果はNOとなり、同様にステップSb4に進む。

【0031】ステップSb4において、制御手段11は、端末101に対して、店舗情報入力画面を表示させる制御を行なって、端末操作者に対し、店舗情報の入力を促す。この後、制御手段11は手順をステップSb5に進ませ、入力された店舗情報を、端末101の表示部に表示させて、その内容の確認を端末操作者に促す。この際、端末操作者が、店舗情報の再入力を行なうのであれば、所定の操作を行なう。これにより、制御手段11の制御によって先の店舗情報入力画面に戻る一方、店舗情報に誤りがなければ、手順はステップSb6に進む。

【0032】ステップSb6において制御手段11は、端末101の表示部に対し、「登録しました」旨の表示を行なうとともに、登録メニュー画面、位置指定画面および店舗情報入力画面において入力された情報を、1つの顧客ファイルとして、特に、店舗情報入力画面において入力された情報については店舗情報として記憶手段17に格納する。この際に付与された店登録番号は、制御手段11の制御により端末101の表示部に表示されて、端末操作者に告知される。この後、制御手段11は、手順をステップSb1の登録メニュー画面表示に戻す。このようにして、新規の広告依頼主が行なった入力に対して1つの顧客ファイルが作成される。

【0033】2-1-2：既登録の変更

ところで、広告依頼主にとっては、登録して顧客ファイルが作成された後、時間経過とともに、広告内容の変更等したい場合が生じる。かかる場合に、広告依頼者たる端末操作者は、ステップSb1の登録メニュー画面（図7参照）において、「既登録の変更」の処理を選択すべく、マウスカーソルMCをチェックボタン232をクリックした後、入力ボックス241～243に、店登録番号、登録者ID、パスワードをそれぞれ入力し、ボタン25をマウスでクリックする。

【0034】かかる操作により、制御手段11は、手順を図5に示すステップSb7に進ませ、入力された店登録番号に対応する顧客ファイルの登録者IDとパスワードとが、入力された登録者IDとパスワードとに、それぞれ一致するかをチェックする。ここで、制御手段11は、一致していないと判定すれば、ステップSb15に進んで、端末101の表示部に対して「IDかパスワードが不正である」を旨を表示させる制御をした後、ステップSb1に戻して再び登録メニューを表示させる。一方、制御手段11は、一致していると判定すれば、次のステップSb8の処理を行なう。

【0035】ステップSb8において制御手段11は、店舗情報入力画面を表示し、さらに、入力された店登録番号に対応する顧客ファイルを読み出して、当該顧客ファイルに対応した情報を表示させる。これにより修正前

の顧客ファイルに対応する店舗情報入力画面が復元される。そして、端末操作者が店舗情報のうち所望する箇所の修正・変更を行うと、制御手段11は、手順をステップS b 9に進ませる。ステップS b 9において制御手段11は、変更された店舗情報を、端末101の表示部に表示させて、その内容の確認を端末操作者に促す。この際、新規登録時と同様に、端末操作者が、店舗情報の再入力を行なうのであれば、所定の操作を行なう。これにより制御手段11の制御によって先の店舗情報入力画面に戻る一方、店舗情報に誤りがなければ、手順はステップS b 10に進む。ステップS b 10において制御手段11は、端末101の表示部に対し、「修正しました」旨の表示を行なうとともに、修正された店舗情報を、修正前と同じ店登録番号の顧客ファイルとして記憶手段17に格納し直す。そして、この後、制御手段11は、手順をステップS b 1の登録メニュー画面表示に戻す。

#### 【0036】2-1-3：既登録の削除

さて、広告依頼主にとっては、登録して顧客ファイルが作成された後、時間経過とともに、諸般の事情により広告の廃止等を望む場合がある。かかる場合に、広告依頼者たる端末操作者は、図5に示したステップS b 1の登録メニュー画面（図7参照）において、「既登録の削除」の処理を選択すべく、マウスカーソルMCをチェックボタン233をクリックした後、店登録番号、登録者ID、パスワードをそれぞれ入力する。この後、制御手段11は、手順をステップS b 1に進ませ、入力された店登録番号に対応する顧客ファイルの登録者IDとパスワードとが、入力された登録者IDとパスワードとに、それぞれ一致するかをチェックする。ここで、制御手段11は、一致していないと判定すれば、ステップS b 15に進んで、端末101の表示部に対して「IDかパスワードが不正である」を旨を表示させる制御をした後、手順をステップS b 1に戻して再び登録メニューを表示させる。一方、制御手段11は、一致していると判定すれば、次のステップS b 12の処理を行なう。

【0037】ステップS b 12において制御手段11は、入力された店登録番号に対応する顧客ファイルを読み出し、当該ファイルに対応する店舗情報を端末101の表示部に表示させて、端末操作者に対し、削除すべき顧客ファイルの内容を確認させる。それが誤りであれば、手順がステップS b 1の登録メニュー画面表示に戻る一方、削除するのであれば、ステップS b 13に進んで、制御手段11は、端末101の表示部に「本当に削除します」旨表示して、当該顧客ファイルの削除を再確認させる。この段階で削除しないのであれば、手順がステップS b 1の登録メニュー画面表示に戻る一方、本当に削除するのであれば、ステップS b 14に進んで、制御手段11は、当該顧客ファイルの削除するとともに、端末101の表示部に「削除しました」旨表示する。そして、この後、手順は、ステップS b 1の登録メニュー

画面表示に戻るようになっている。

【0038】このように、顧客ファイルは、広告依頼者の操作により容易に登録、変更、削除が可能であるので、常に、新鮮な店舗情報を保つことが可能であり、また、その変更・削除の際には、店登録番号、登録者IDおよびパスワードが求められるので、セキュリティも保たれる。以上は、1つの顧客ファイルについて述べたが、他の端末や異なる広告依頼者からも、顧客ファイルの作成が可能であるため、様々な業種の顧客ファイルや、広範囲にまたがる顧客ファイルが次第に蓄積されることとなる。

#### 【0039】2-2：広告の受給

次に、顧客ファイルに基づいて、いかにして広告が行なわれるかについて説明する。この場合も、登録時と同様に、説明の便宜上、サーバ10には端末101が接続されたとして説明する。なお、サーバ10に端末101が接続されてから、図9に示すステップS 1の処理（メインメニュー画面の表示）までの過程は、登録時と同様であるので、かかる過程の説明については省略する。さて、本実施形態における広告の受給は、広告受給者たる端末操作者に対して「地図」、「仮想マーケット」、「検索」の3機能により行なうことを想定している。このうち「地図」は、主に地域的な面から店舗を検索し、また、「仮想マーケット」は、主に業種の面から店舗を検索し、「検索」は、顧客ファイルの文字列を検索して、それぞれ該当する店舗の情報を供給して、広告を行なうものである。

#### 【0040】2-2-1：検索

まず、「検索」について説明する。この場合、店舗情報を受ける端末操作者は、図9に示したステップS 1のメインメニュー画面（図6参照）において、「検索」のボタン213をクリックする。すると、制御手段11は、手順をステップS 2に進ませ、図10に示す検索メニュー画面を端末101の表示部に表示するよう制御する。この表示部には、「・地図から搜してみましよう、」、「・地名から搜してみましよう、」、「・駅名から搜してみましよう、」、「・業種から搜してみましよう、」、「・フリーワード検索してみましよう。」と表示され、端末操作者は、所望する処理を選択するように促される。

#### 【0041】2-2-1-1：地図

まず、地図からの検索を説明する。この場合、端末操作者は、図9に示したステップS 2の検索メニュー画面（図10参照）において、「地図」221をクリックする。すると、制御手段11は、手順をステップS 3に進ませ、上層の地図ファイルを記憶手段15から読み出し、端末101の表示部に、当該ファイルに基づく日本地図とともに、地域的な限定をするように促すメッセージを表示させる制御を行なう。このときに端末101の表示部に表示される画面を図11に示す。

【0042】ここで、端末操作者は、例えば、表示地図上の東京にマウスカーソルMCを合わせてクリックしたとする。すると制御手段11は、手順をステップS4に進ませて、中層の地図ファイルのうち、位置指定された東京の地図ファイルを記憶手段15から読み出し、端末101の表示部に、当該ファイルに基づく東京都近郊の地図とともに、さらに、地域的な限定をするように促すメッセージを表示させる制御を行なう。このときに端末101の表示部に表示される画面を図12に示す。この画面に対し、端末操作者は、表示地図上の「秋葉原周辺」にマウスカーソルMCを合わせてクリックしたとすると、手順は次のステップS5に進む。

【0043】ステップS5において制御手段11は、まず、下層の地図ファイルのうち、位置指定された秋葉原近郊の地図ファイルを記憶手段15から読み出して、道路、区画、あるいは鉄道の表示といった地図のレイヤを生成する。次に、制御手段11は、記憶手段17に格納されている顧客ファイルにアクセスして、当該地図ファイル名と一致する店登録番号を抽出する。そして、抽出された店登録番号に対応する(x, y)情報に基づいて、アイコンを表示するレイヤを生成する。この場合、通常アイコンは、郵便局、デパート、コンビニエンスストアといった店舗情報中の業種と対応づけて選択される。また、ビルアイコン設定情報が登録されている店舗については、近接するものをグループ化し、グループ毎にビルアイコンを設定する。その次に、名称を表示するレイヤを生成する。通常アイコンについては、名称を表示する旨が顧客ファイルに登録されているものの店舗名称を表示し、ビルアイコンについてはグループ毎に名称を付与して表示する。名称は混雑エリアA、Bといったように、他のビルアイコンと区別できるように自動的に付与される。なお、サーバ側でビルアイコンを特別に登録する場合にあっては、△△プラザや〇〇ビルといったような名称を顧客ファイルの中に格納しておき、これを表示させる。さらに、各ビルアイコンに属する店舗数を顧客ファイルを参照して表示させる。こうして生成された各レイヤは、重ねられて端末101の表示部に表示される。

【0044】このときに端末101の表示部に表示される画面を図13に示す。なお、かかる表示画面に示されるメッセージ中、アンダーラインが付されている文字部分をマウスクリックすることにより、表示された地図およびアイコンが、当該メッセージで示される方向にスクロール移動するようになっている。かかる制御も制御手段11が行なっている。また、この表示画面のボタン31をマウスでクリックすれば、広告の掲載のための登録メニュー画面表示に移行するようになっている。

【0045】また、図中のB11、B12はビルアイコンであり、これらに隣接して表示される「2」は、それぞれのビルアイコンB11、B12に2店舗が入居してい

ることを示している。このビルアイコンB12の右上には混雑エリアAが表示されるが、この名称は自動的に付与されたものである。一方、ビルアイコンB11の右上に表示される〇〇ビルは、サーバ側で設定した名称である。また、表示部の下部Pには、当該地図上の全てのアイコンに対応する店舗名が表示される。これにより端末操作者は目標の店舗が地図上に有るか否かを一見して知ることができる。また、ビルアイコンに対応する店舗については、店舗名とともに、そのビルアイコンの名称が表示される。この例にあっては、「〇〇喫茶店(〇〇ビル)、△△喫茶店(混雑エリアA)」と表示されるので、〇〇喫茶店と△△喫茶店の所在を明確に区別することができる。また、下部Pには「〇〇喫茶店(〇〇ビル)、××喫茶店(〇〇ビル)」と表示されるが、この他に〇〇ビルの表示はないので、端末操作者は、〇〇ビルについて登録されている店舗は、〇〇喫茶店と××喫茶店の2つであることが分かる。

【0046】さて、端末操作者は、かかる画面にアイコン化されている店舗情報を欲する場合には、そのアイコンをマウスによりクリックする。例えば、当該画面にはビルアイコンB11「〇〇ビル」が表示されているが、端末操作者が、この「〇〇ビル」の詳細情報を欲する場合には、同図に示すようにのビルアイコンB11にマウスカーソルMCを合わせてクリックする。すると、端末101の表示部には図14に示す地図が表示される。この場合、制御手段11は、ビルアイコンB11に対応する店舗の顧客ファイルにアクセスして店舗名を取得すると、名称を表示するレイヤに取得した店舗名を追加して表示する。この例にあっては、〇〇ビルに対応する店舗は上述した2店舗であるから、図14に示すようにこれらの店舗名がビルアイコンB11に隣接して表示される。次に、端末操作者が、「〇〇喫茶店」についての店舗情報を欲する場合には、図14に示すようにマウスカーソルMCをそこに移動させ、クリックする。かかる操作により制御手段11は、手順をステップS6に進ませ、クリックされた名称に対応する店舗情報を顧客ファイルから読み出して、端末101の表示部に広告ページを表示させる。この例にあっては、「〇〇喫茶店」に対応する店舗情報が読み出され、図15に示す画面が表示される。また、図14に示す画面には、「〇〇デパート」等の通常アイコンが表示されているが、端末操作者がそこをマウスカーソルMCでクリックすれば、この座標に一致する、あるいは最も近傍の(x, y)情報を有する顧客ファイルを検索して見つけ、さらに、当該顧客ファイルの店舗情報を読み出して、端末101の表示部に広告ページを表示させる。さらに、表示部の下部Pに表示される店舗名から、広告ページを表示させることもできる。この場合には、端末操作者がマウスカーソルMCを所望の店舗名に移動させ、そこをクリックすると、店舗名に対応する店舗情報が顧客ファイルから読み出され、

端末101の表示部に図15に示す広告ページが表示される。

【0047】このように、広告受給者たる端末操作者は、表示部に表示された地図と、その地図上に重ねられたアイコンや店舗名を見ながら、アイコンまたは店舗名をクリックすれば、その店舗の情報を得ることができる。なお、この店舗情報は、広告依頼者が所定のパスワードを入力することによって修正される。したがって、広告記載依頼から実際の広告頒布までのタイムラグを短くすることができ、しかも、広告情報の信頼性を保つこともできる。また、一つのビルに入居している複数の店舗が登録されている場合や、商店街のように店舗が隣接している場合には、ビルアイコンB I 1、B I 2が表示され、これを選択すれば、それに対応する店舗名が表示されるようになっているから、店舗が密集する地域においても広告を円滑に提供することができる。

#### 【0048】2-2-1-2：地名

次に、地名からの検索を説明する。この場合、端末操作者は、図9に示したステップS2の検索メニュー画面

(図10参照)において、「地名」222をクリックすると、都道府県別の県名一覧ウインドの表示(ステップS7)→選択→市区名一覧ウインドの表示(ステップS8)→選択→町村名一覧ウインドの表示(S9)→選択→区分別地図(ステップS5)といった手順で区分別地図が表示される。例えば、東京都千代田区という順序で地名を選択したとすれば、図16に示すように県名一覧ウインド、市区名一覧ウインドおよび町村名一覧ウインドが順次表示される。なお、各ウインドにおいて、三角形のボタン22S、22TをマウスカーソルMCを用いてクリックすれば、地名が上下にスクロールするようになっている。そして、図15に示す町村名一覧ウインドの「神田佐久間町」を選択したとすれば、制御手段11は図3に示す地名ファイルにアクセスする。そこには、「神田佐久間町」に対応する地図ファイル名として「秋葉原中央部」が、また地図を表示すべき座標として(X, Y)が記憶されている。このため、制御手段11は、「秋葉原中央部」に該当する地図情報を地図ファイルから読み出し、この地図情報と上記(X, Y)座標値に基づいて、所定の地図を端末101の表示部に表示させる。この結果、端末101の表示部には、図13に示す画面が表示される。

【0049】このようにして、地名を階層的に順次選択すれば、アイコン化された店舗が地図上に配置された画面が表示される。そして、端末操作者は、この画面にアイコン化されている店舗をマウスでクリックすることにより、上述した「地図からの検索」と同様な処理が行なわれ(S6)、これによって端末操作者は詳細な広告情報を取得することができる。例えば、図13に示す秋葉原近郊の地図において、ビルアイコンB I 1をクリックすれば、図14に示す画面が表示され、さらに、〇〇喫茶

店をクリックすれば、図15に示す広告ページが端末101に表示される。

#### 【0050】2-2-1-3：駅名

次に、駅名からの検索を説明する。この場合、端末操作者は、図9に示したステップS2の検索メニュー画面

(図10参照)において、「駅名」223をクリックすると、鉄道会社名ウインドの表示(ステップS10)→選択→路線名ウインドの表示(ステップS11)→選択→駅名ウインドの表示(ステップS12)→選択→区分別地図の表示(ステップS5)といった手順で区分別地図が表示される。例えば、営団線一日比谷線という順序で会社名と路線名を選択したとすれば、図17に示すように鉄道会社名ウインド、路線名ウインドおよび駅名ウインドが順次表示される。この駅名ウインドにおいて秋葉原を選択すると、制御手段11は図3に示す駅名ファイルにアクセスする。そこには、「日比谷線秋葉原駅」に対応する地図ファイル名として「秋葉原中央部」が、また地図を表示すべき座標として(X, Y)が記憶されている。このため、制御手段11は、「秋葉原中央部」に該当する地図情報を地図ファイルから読み出し、この地図情報と上記(X, Y)座標値に基づいて、所定の地図を端末101の表示部に表示させる。この結果、端末101の表示部には、図13に示す画面が表示される。ここで、ビルアイコンB I 1をクリックすれば、図14に示す画面が表示され、さらに、〇〇喫茶店をクリックすれば、図15に示す広告ページが端末101に表示される。

#### 【0051】2-2-1-4：目標物名

次に、目標物名からの検索を説明する。この検索は、目標とする建物や地域(目標物)から検索する場合である。この場合、端末操作者は、図5に示したステップS2の検索メニュー画面(図7参照)において、「目標物名」224をクリックする。すると、制御手段11は、手順をステップS13に進ませ、目標物名一覧ウインドを端末101の表示部に表示するよう制御する。この目標物名一覧ウインドには目標物名がリスト表示される。その一例を図18に示す。なお、このウインドには三角形のボタン22S、22Tが表示されるが、ここをマウスカーソルMCを用いてクリックすれば、目標物名が、上下にスクロールするようになっている。

【0052】例えば、このウインドには、「電気街」が表示されているが、ここをマウスカーソルMCでクリックすると、制御手段11は手順をステップS5に進ませ、記憶手段18に記憶されている地図管理ファイル中の目標物名ファイルにアクセスし、当該目標物名の属する地図ファイル名と座標値(X, Y)を取得する。この後、制御手段11は、当該地図ファイル名に基づいて記憶手段15に記憶されている地図ファイルにアクセスし、該当する地図ファイルを読み出し、座標値(X, Y)が中心となる地図を端末101の表示部に表示する

よう制御する。この例にあつては、図13に示す地図が表示される。ここで、ビルアイコンB11をクリックすれば、図14に示す画面が表示され、さらに、〇〇喫茶店をクリックすれば、図15に示す広告ページが端末101に表示される。

#### 【0053】2-2-1-5：業種

次に、業種からの検索を説明する。この場合、端末操作者は、図9に示したステップS2の検索メニュー画面（図10参照）において、「業種」225をクリックすると、制御手段11は、業種一覧ウインドを端末101の表示部に表示するよう制御する（ステップS14）。この業種一覧ウインドには業種名がリスト表示される。この業種名としては、例えば、宿泊関連、カルチャーセンター、飲食店…といった項目がある。そして、表示された項目をマウスカーソルMCを用いてクリックすると、制御手段11は、手順をステップS15に進ませ、店名一覧ウインドを端末101の表示部に表示するよう制御する。この店名一覧ウインドには該当する店名がリスト表示される。これをクリックすると、制御手段11は、手順をステップS5に進ませ、顧客ファイルにアクセスし、当該店名に対応する地図ファイル名と座標値（X，Y）を取得する。この後、制御手段11は、当該地図ファイル名に基づいて記憶手段15に記憶されている地図ファイルにアクセスし、該当する地図ファイルを読み出し、座標値（X，Y）が中心となる地図を端末101の表示部に表示するよう制御する。

【0054】この画面には、アイコン化された店舗が地図上に配置されるが、端末操作者がこの画面にアイコン化されている店舗をマウスでクリックすると、上述した「地図からの検索」と同様な処理が行なわれる（S6）。これによって端末操作者は詳細な広告情報を取得することができる。例えば、図13に示す秋葉原近郊の地図が表示され、そこに配置されるビルアイコンB11をクリックすれば、図14に示す画面が表示され、さらに、〇〇喫茶店をクリックすれば、図15に示す広告ページが端末101に表示される。

#### 【0055】2-2-1-6：フリーワード検索

次に、フリーワード検索を説明する。この場合、端末操作者は、図9に示したステップS2の検索メニュー画面（図10参照）において、「フリーワード検索」226をクリックすると、制御手段11は検索情報入力画面を端末101の表示部に表示させ、端末操作者に対し、検索情報の入力を促す（ステップS16）。端末操作者が必要な情報を入力を行なうと、検索条件に合致した店舗名を表示する店名一覧ウインドが端末101の表示部に表示される。この店名一覧ウインドの一例を図19に示す。この店名一覧ウインドの上部には件数ボックス27が表示され、そこには該当する店の件数が表示される。また、この表示部には三角形のボタン22S、22Tが表示されるが、ここをマウスカーソルMCを用いてク

リックすれば、店名が、上下にスクロールするようになっている。

【0056】ここで、店名一覧ウインドに表示される店名をマウスカーソルMCでクリックすると、制御手段11は、手順をステップS5に進ませ、記憶手段17に記憶されている顧客ファイルにアクセスし、当該店名の属する地図ファイル名と座標値（X，Y）を取得する。この後、制御手段11は、当該地図ファイル名に基づいて記憶手段15に記憶されている地図ファイルにアクセスし、該当する地図ファイルを読み出し、座標値（X，Y）が中心となる地図を端末101の表示部に表示するよう制御する。例えば、図19に示す店名一覧ウインドには、「〇〇デパート」が表示されているが、この〇〇デパートが秋葉原駅近郊のデパートであるとし、ここをマウスカーソルMCでクリックすると、図13に示す地図が端末101の表示部に表示される。そこに配置されるビルアイコンB11をクリックすれば、図14に示す画面が表示され、さらに、〇〇喫茶店をクリックすれば、図15に示す広告ページが端末101に表示される。

#### 【0057】2-2-2：地図

次に、「地図」について説明する。この場合、店舗情報を受ける端末操作者は、図9に示したステップS1のメインメニュー画面（図6参照）において、「地図」のボタン211をクリックする。すると、制御手段11は、上述した「地図からの検索(2-2-1)」と同様に、上層の地図ファイルを記憶手段15から読み出し、端末101の表示部に、当該ファイルに基づく日本地図とともに、地域的な限定をするように促すメッセージを表示させる。この後、端末操作者の操作に応じて、中層の都道府県別地図、下層の区分地図が順次表示される。さらに、端末操作者が下層の区分地図に表示されるアイコン化された店舗情報をクリックすると、この店舗における広告情報を取得することができる。このように、メインメニュー画面で「地図」を選択した場合には、上述した「地図からの検索」と同様の動作が行なわれる。

#### 【0058】2-2-3：仮想マーケット

次に、「仮想マーケット」について説明する。この場合、店舗情報を受ける端末操作者は、図9に示したステップS1のメインメニュー画面（図6参照）において、「仮想マーケット」のボタン212をクリックする。すると、制御手段11は、端末101の表示部に、仮想マーケットメニュー画面を表示させる制御を行なう。この画面には、業種を選択する欄が設けられており、そこに端末操作者が所望の業種を入力すると、入力された業種のみに対応して検索が行われる。

【0059】具体的には、その業種に対応した店名リストが端末101の表示部に表示され、この中から所望の店名を選択すると、当該店舗が属する地図が表示されるようになっている。この場合、入力された業種に相当す

る1種類の通常アイコンが表示される。また、ビルアイコンについては、ビルアイコンに対応する店舗のいずれかが当該業種に該当すれば表示されるが、いずれの店舗も当該業種に該当しない場合には表示されない。なお、アイコンの表示・非表示の選択は、制御手段11が顧客ファイルの店舗情報を参照することにより行われる。例えば、図13に示すように、ビルアイコンB11には「〇〇喫茶店、××喫茶店」が属しており、ビルアイコンB12には「△△喫茶店、×△レコード店」が属している場合において、業種としてレコード店を選択すると、ビルアイコンB12のみが表示される。

【0060】こうして所望の業種のみが表示された地図から、アイコンをクリックすることによって、当該店舗の広告情報が端末101の表示部に表示される。これにより、「仮想マーケット」では、広告受給者たる端末操作者が、所望とする1以上の業種のみを検索することができる。また、時間経過とともに当該地図内に含まれる顧客ファイルが増加するような場合、同一地図内に表示されるアイコンをすべての業種にわたって表示すると、アイコンが多くなって非常に見づらいことが考えられるが、本実施形態では、広告受給者が所望の業種のみを選択して表示させるアイコンの業種を絞り込めるので、このような不都合を回避できる。さらに、複数の店舗に対して付与されるビルアイコンについても、所望の業種を含むもののみが表示されるので、画面を見やすくすることができる。

#### 【0061】B. 第2実施形態

第2実施形態は、最終的な下層地図においてビルアイコンを選択して広告ページを表示させる態様を除いて第1実施形態と同様である。以下相違点について説明する。端末操作者が、上述した検索の手順に従って、図13に示す下層地図を表示部に表示させたとする。この場合に、ビルアイコンB11にマウスカーソルMCを移動させクリックすると、制御手段11は、ビルアイコンB11に対応する店舗の顧客ファイルにアクセスして店舗名を取得し、これらをリスト形式で店舗名ウインドに表示する。具体的には図20に示す画面が端末101の表示部に表示され、その領域Qには店舗名ウインドが表示される。この例にあっては、ビルアイコンB11に対応する店舗の全てが店舗名ウインドに表示されているが、店舗数が多い場合には、その一部が表示される。この場合には、三角形のボタン33U、33Dをクリックすることによって、文字列が上下にスクロールするようになっている。

【0062】ここで、端末操作者が、店舗名ウインド内の文字列にマウスカーソルMCを移動させ、クリックすると、その店舗名に対応した広告ページが表示される。例えば、店舗名ウインドに表示される文字列「〇〇喫茶店」をクリックしたとすれば、図15に示す広告ページが表示される。このように第2実施形態によれば、ビル

アイコンを選択した場合に、そこに対応付けられている店舗名を店舗名ウインドにスクロール表示するようにしたので、多数の店舗がビルアイコンに関連づけられている場合に、店舗名を効率的に表示することが可能となる。

#### 【0063】C. 第3実施形態

第3実施形態は、最終的な下層地図に表示されるビルアイコンを選択して広告ページを表示させる態様を除いて第1実施形態と同様である。以下相違点について説明する。端末操作者が、上述した検索の手順に従って、図21に示す下層地図を表示部に表示させたとする。この例は、ビルアイコンB11に対応して、〇〇喫茶店、××喫茶店、△△美容室、〇〇パソコン店および△△ブックが登録されている場合である。ところで、各店舗を登録する場合には、第1実施形態で説明したように、店舗の位置を指示する(x, y)情報がドット単位で入力される。このため、店舗が密集する領域であっても、(x, y)情報が完全に一致するのは極めて稀である。そこで、登録時において、まず、拡大した地図上に(x, y)情報に基づいてアイコンを配置し、これを端末101の表示部に表示する。ここで、店舗の位置が近接していれば、アイコン同士が重なって表示されることがある。この場合、端末操作者は、表示部の画面を見ながらアイコンの位置を修正できるようになっており、これにより、アイコン同士が重ならないように配置される。図22は、このような修正を経た後の画面である。

【0064】図21において、ビルアイコンB11にマウスカーソルMCを移動させクリックすると、制御手段11は、クリックされたビルアイコンB11を中心として拡大された地図からなるレイヤを生成する。次に、制御手段11は、ビルアイコンB11に対応する各店舗の顧客ファイルにアクセスし、(x, y)情報、店舗名および業種をそれぞれ読み出す。この後、業種に応じたアイコンを記憶手段16に格納されているキャラクタファイルから読み出し、これを(x, y)情報に基づいて配置してアイコンに係わるレイヤを生成する。次に、各アイコンに対応する店舗名を隣接するように配置して名称に係わるレイヤを生成する。そして、これらのレイヤを重ねることによって、図22に示す画面が生成され、これが端末101の表示部に表示される。この後、端末操作者が、アイコンにマウスカーソルMCを移動させ、クリックすると、それに対応した広告ページが表示される。例えば、「〇〇喫茶店」に対応するアイコンをクリックしたとすれば、図15に示す広告ページが表示される。このように第3実施形態によれば、ビルアイコンを選択した場合に、地図を拡大し、そこに通常アイコンを表示するので、店舗が密集している地域であっても、アイコン同士が重なることがない。この結果、広告の提供を円滑に行うことができる。

#### 【0065】D. 第4実施形態

第1実施形態で説明したように、ビルアイコンの種類に

は、サーバ側で登録したものと、インターネットNETを介して登録したのものがある。第4実施形態は、サーバ側で登録したビルアイコンを選択した場合の表示態様を除いて第1実施形態と同様である。以下相違点について説明する。端末操作者が、上述した検索の手順に従って、図21に示す下層地図を表示部に表示させたとする。この場合、〇〇ビルが、例えば5階建ての建物であり、〇〇喫茶店は1階に、××喫茶店は2階にそれぞれ入居しているものとする。ここで、マウスカーソルMCをビルアイコンB I 1に移動させ、そこをクリックすると、端末101の表示部には図24に示す画面が表示される。また、この画面において、三角形のボタン33U、33Dをクリックすると、各階の表示が上下にスクロールするようになっている。なお、これらの表示情報は、当該ビルアイコンと関連づけられて、記憶手段16のキャラクタファイルに予め記憶されており、その内容は各階毎のレイアウトを示す見取図と階数を示す表示からなる。

【0066】この場合、制御手段11は、記憶手段17に格納されている顧客ファイルにアクセスして、ビルアイコンB I 1に該当する各店舗についてその店舗情報中の住所を参照し、住所の示す階数の見取図を表示する。この例にあつて、〇〇ビルに属する他の店舗が全て5階にあるとすれば、ボタン33Uをクリックすると、2階と5階の見取図が表示される。これにより、端末操作者は、どの階に所望の店舗があるかを一見して知ることができる。この後、端末操作者が、1Fの〇〇喫茶店にマウスカーソルMCを移動させ、そこをクリックすると、図15に示す広告ページが表示される。なお、図23に示す画面において、「広告の掲載／更新／削除」のボタンをクリックすれば、図7に示す登録メニュー画面（図5のステップS b 1参照）に移行し、広告情報を登録することが可能である。なお、この場合に行われる店舗の位置指定は、各階の見取図中の（x，y）情報である。

【0067】また、図24に示す画面の替わりに図25に示す画面を表示させてもよい。この場合には、各階の見取図が立体的に表示されるので、例えば、2棟の建物がある階で連絡しているようなものを表示するのに便利である。このように本実施形態によれば、ビル等の建物の中に複数の店舗が入居している場合に、各階毎の見取図を表示しそこに通常アイコンを配置したので、端末操作者が、各店舗がある階数を一目で知ることができるといふ利点があり、当該店舗に出向く際に便利である。

#### 【0068】E. 変形例

本発明は上述した実施形態に限定されるものではなく、例えば以下のような変形が可能である。

上記各実施形態においては、サーバ10と、端末101、102、…とがインターネットNETを介して接続された構成としたが、本願においては、両者の接続形態については問われない。また、実施形態にあつては、サ

ーバ10と接続される端末を端末101としたが、端末101以外であっても良い。また、実施形態にあつては、広告依頼者の端末と広告受給者の端末とが同一の端末101としたが、いずれの端末も両者になり得る。

【0069】上記各実施形態において、ビルアイコンは、通常アイコンと異なる色で表示するようにしたが、ビルアイコンを点滅させるようにしてもよく、要は、通常アイコンと識別できる態様であればどのようなものであってもよい。

【0070】上記第1実施形態において、広告情報の削除を行う場合（既登録の削除：2-1-3参照）において、削除を行うことによりビルアイコンに属する店舗が1つとなってしまう場合には、当該店舗のビルアイコン設定情報を削除してもよい。この場合には、削除されず残った店舗は通常アイコンで表示される。さらに、削除の対象となるビルアイコン設定情報がサーバ側で設定したものであるならば削除せず、インターネットNETを介して設定されたものである場合にのみ削除してもよい。

【0071】上記第1実施形態においては、ビルアイコンを表示することを指示するビルアイコン設定情報を顧客ファイルに登録することとしたが、これを設定しなくともよい。この場合には、まず、各アイコンを地図とともに表示する際に、（x，y）情報を参照して、所定範囲内に他の店舗が存在するか否かを判定する。他の店舗が存在するならば、ビルアイコンを表示し、一方、他の店舗が存在しないならば、通常アイコンを表示すればよい。なお、このことから、以下の発明が把握される。コンピュータシステムにより広告情報の供給を行なう広告情報の供給方法において、広告依頼者に対しては、広告情報の入力を促す一方、予め記憶された地図情報に基づいて地図を表示して、当該地図上において広告対象物の位置指定を促す段階と、前記地図上において位置指定された広告対象物の座標を、入力された広告情報と関連づけて逐一記憶する段階とを備える一方、広告受給者に対しては、記憶された広告対象物を示すアイコンを前記地図情報に基づく地図をとともに表示する際に、当該広告対象物の座標を中心とする一定範囲内に他の広告対象物の位置指定がなされているか否かを判定する段階と、前記一定範囲内に他の広告対象物の位置指定がなされていない場合は、1つの広告対象物が存在することを示す第1のアイコンを表示し、前記一定範囲内に他の広告対象物の位置指定がなされている場合は、複数の広告対象物が存在していることを示す第2のアイコンを表示することにより、所望する広告対象物の選択を促す段階と、選択された広告対象物に関連づけられた広告情報を読み出す段階と、読み出された広告情報を、前記広告受給者に対して出力する段階とを特徴とする広告情報の供給方法。

【0072】上記実施形態において、地図上のビルア

アイコンが選択された場合の表示態様については、第3実施形態における地図を拡大するもの(図22参照)と第4実施形態における見取図を表示するもの(図23、24参照)とを組み合わせ用いてもよい。この場合には、選択されたビルアイコンに対応する各店舗の(x, y)情報を参照し、それらの間の距離をそれぞれ求め、各距離が所定値を越えれば地図を拡大する態様で表示し、一方、所定値を越えない場合には、見取図の態様で表示すればよい。ここで、当該所定値はアイコンのサイズに基づいて、アイコン同士が重ならないように設定すればよい。

【0073】上記第3実施形態においては、アイコンの重複を避けるべく、登録時にビルアイコンに属する各店舗の位置を修正し、修正後の(x, y)情報に従って拡大された地図上に各店舗を示す通常アイコンを表示するようにしたが、本発明はこれに限定されるものではなく、修正処理を行わなくともよい。この場合には、拡大した地図上に通常アイコンを配置して表示する際、通常アイコンが重ならないように、自動的に配置すればよい。すなわち、各店舗の(x, y)情報が指示する座標に通常アイコンが表示されるのではなく、その近傍にアイコン同士が重ならないように配置される。いずれの場合にあっても、ビルアイコンに対応する複数の店舗は、それらが存在する位置に通常アイコンによって表示される。

#### 【0074】

【発明の効果】以上説明したように、本発明の発明特定事項によれば、広告対象物を登録する際に、複数の広告対象物を表示する第2のアイコンを指定することができるので、広告対象物が近接しても、これらの広告対象物を第2のアイコンによって表示することができ、広告の円滑な提供を行うことが可能となる。また、第2のアイコンが選択された場合には、広告対象物の名称や第1のアイコンが表示されるので、詳細な内容を容易に知ることができる。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明における第1実施形態の構成を示すブロック図である。

【図2】 同実施形態におけるサーバの構成を示すブロック図である。

【図3】 同実施形態の地図管理ファイルのデータ構造を示す図である。

【図4】 同実施形態のインデックスファイルのデータ構造を示す図である。

【図5】 同実施形態の登録の主要動作を示すフローチャートである。

【図6】 同実施形態におけるメインメニュー画面の構成を説明するための図である。

【図7】 同実施形態における登録メニュー画面の構成

を説明するための図である。

【図8】 同実施形態における位置指定に係わる動作を示すフローチャートである。

【図9】 同実施形態のメインプログラムの主要動作を示すフローチャートである。

【図10】 同実施形態における検索メニュー画面の構成を説明するための図である。

【図11】 同実施形態における上層の地図ファイルに基づく画面の構成を説明するための図である。

【図12】 同実施形態における中層の地図ファイルに基づく画面の構成を説明するための図である。

【図13】 同実施形態における下層の地図ファイルに基づく画面の構成を説明するための図である。

【図14】 同実施形態におけるビルアイコンを選択した場合の画面の構成を説明するための図である。

【図15】 同実施形態における店舗情報表示画面の構成を説明するための図である。

【図16】 同実施形態における地名からの検索で表示される各一覧ウィンドの構成を説明するための図である。

【図17】 同実施形態における路線名からの検索で表示される各一覧ウィンドの構成を説明するための図である。

【図18】 同実施形態における目標物名からの検索で表示される目標物名一覧ウィンドの構成を説明するための図である。

【図19】 同実施形態におけるフリーワード検索で表示される店舗名一覧ウィンドの構成を説明するための図である。

【図20】 第2実施形態におけるビルアイコンを選択した場合の画面の構成を説明するための図である。

【図21】 第3実施形態における下層の地図ファイルに基づく画面の構成を説明するための図である。

【図22】 第3実施形態におけるビルアイコンを選択した場合の画面の構成を説明するための図である。

【図23】 第4実施形態におけるビルアイコンを選択した場合の画面の構成を説明するための図である。

【図24】 同実施形態におけるビルアイコンを選択した場合の画面の構成を説明するための図である。

【図25】 従来の方法における下層の地図ファイルに基づく画面の構成を説明するための図である。

#### 【符号の説明】

10……サーバ

11……制御手段

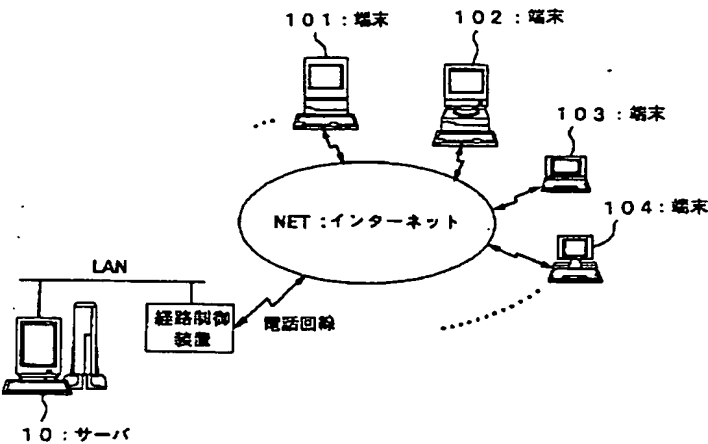
12……入力制御手段

13……出力制御手段

14～19……記憶手段

101、102、103、104……端末

【図 1】

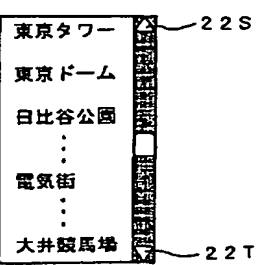


【図 4】

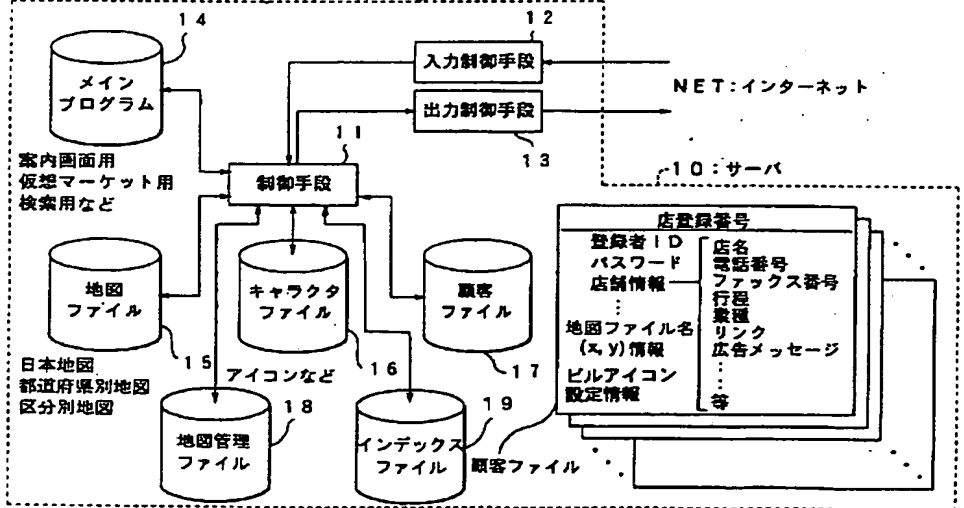
インデックスファイル

インデックス	店登録番号
デパート、バーゲン、開店、……	顧客 A
コンビニエンスストア、……	顧客 B
⋮	⋮

【図 18】

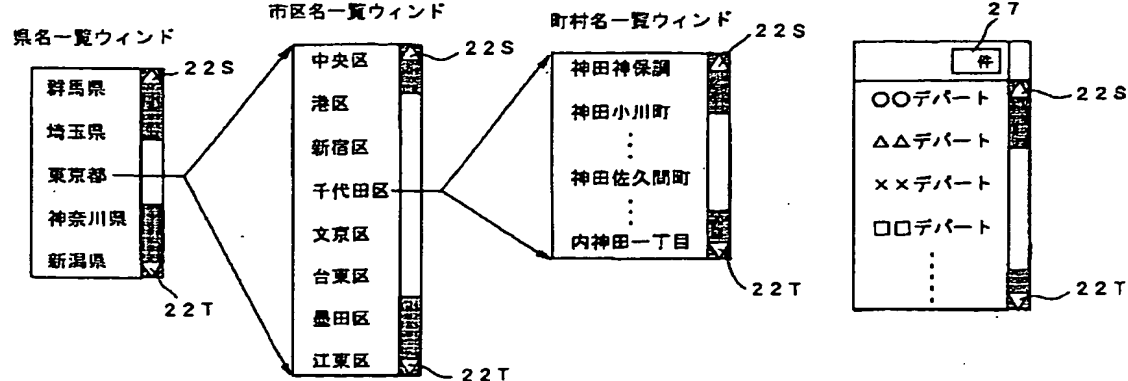


【図 2】



【図 16】

【図 19】



【図3】

地図ファイル		
地 名	地図ファイル名	座標値
[ 神田佐久間町 ]	[ 秋葉原駅 中央部 ]	[ X, Y ]
[ 神田小川町 ]	[ 秋葉原駅 中央部 ]	[ X, Y ]
⋮	⋮	⋮

駅名ファイル		
地 名	地図ファイル名	座標値
[ JR秋葉原駅 ]	[ 秋葉原駅 中央部 ]	[ X, Y ]
[ 営団秋葉原駅 ]	[ 秋葉原駅 中央部 ]	[ X, Y ]
⋮	⋮	⋮

目標物名ファイル		
地 名	地図ファイル名	座標値
[ 電気街 ]	[ 秋葉原駅 中央部 ]	[ X, Y ]
[ ○○デパート ]	[ 秋葉原駅 中央部 ]	[ X, Y ]
⋮	⋮	⋮

【図7】

Document View

商店情報を登録/更新/削除します

- ・新規に登録する方は、「新規登録」をチェックして、あなたの登録者ID(英数字)とパスワードを入力してください。このIDとパスワードは、のちのデータの更新や削除を行なう際に必要となりますので、忘れない様に入力してください。
- ・既に登録されているデータを更新したい場合には、「既登録の更新」をチェックして、店登録番号、登録者ID、パスワードを入力して下さい。
- ・既に登録されているデータを削除したい場合には、「既登録の削除」をチェックして、店登録番号、登録者ID、パスワードを入力して下さい。

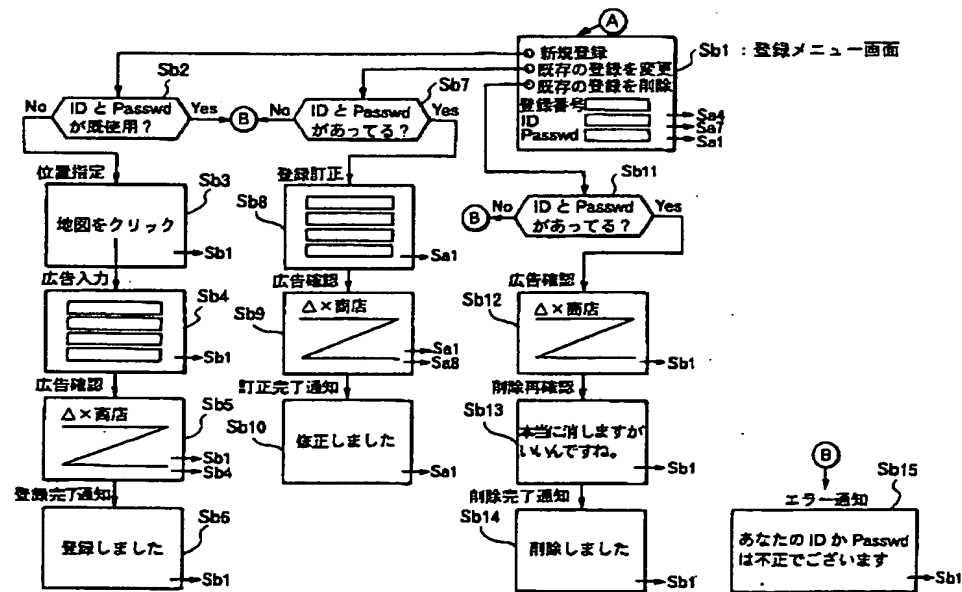
以下に入力/チェックして、「次のステップ」をクリックしてください。

2 3 1 新規登録  
2 3 2 既登録の更新  
2 3 3 既登録の削除

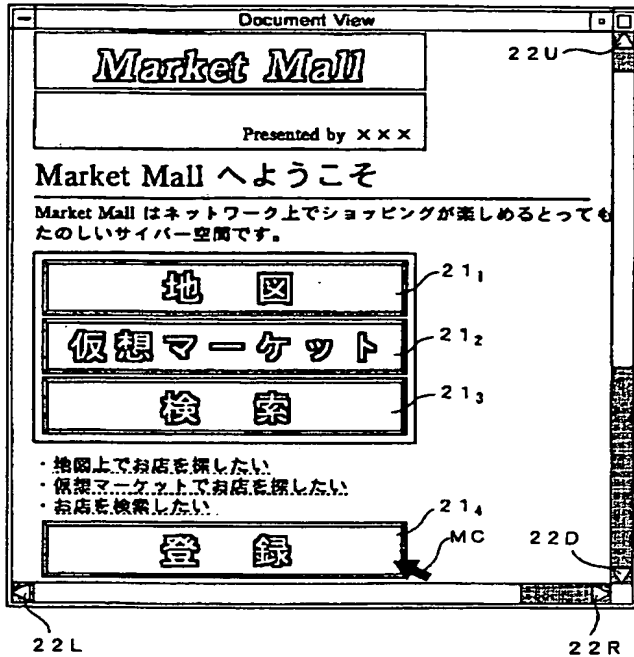
店登録番号 2 4 1  
登録者ID 2 4 2  
パスワード 2 4 3

2 5 次ステップ

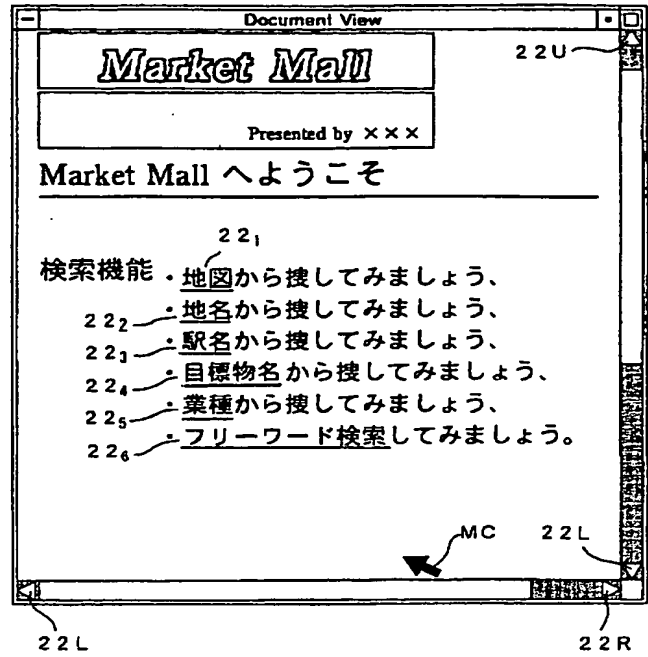
【図5】



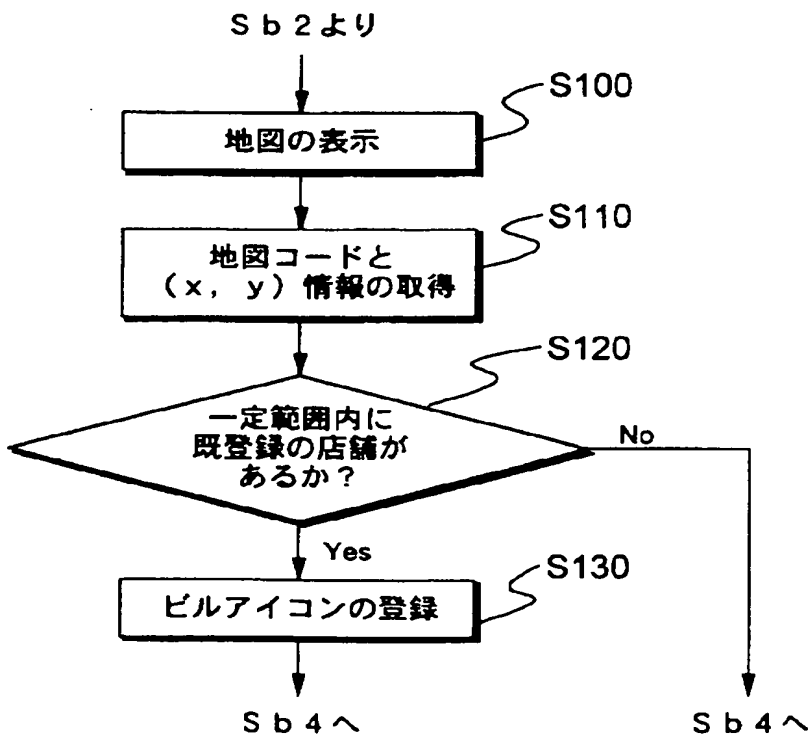
【図6】



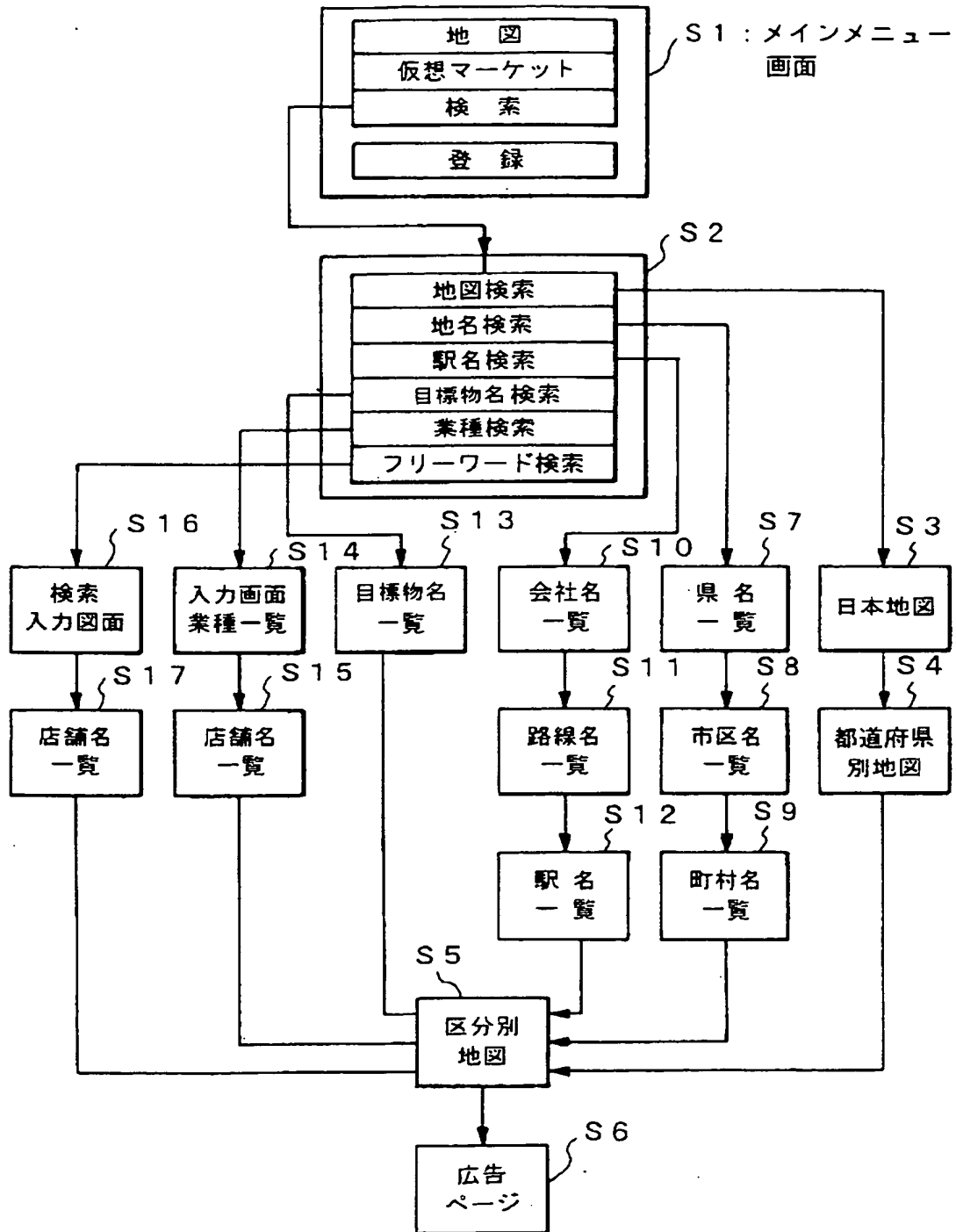
【図10】



【図8】



【図9】



【図11】



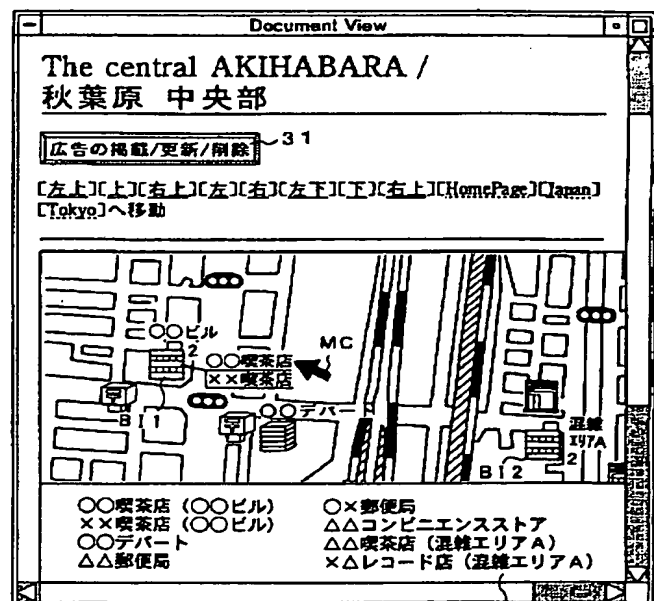
【図12】



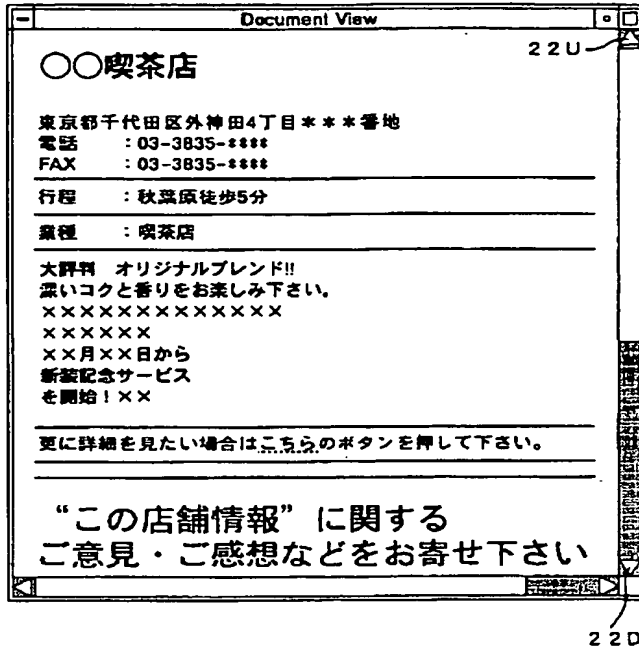
【図13】



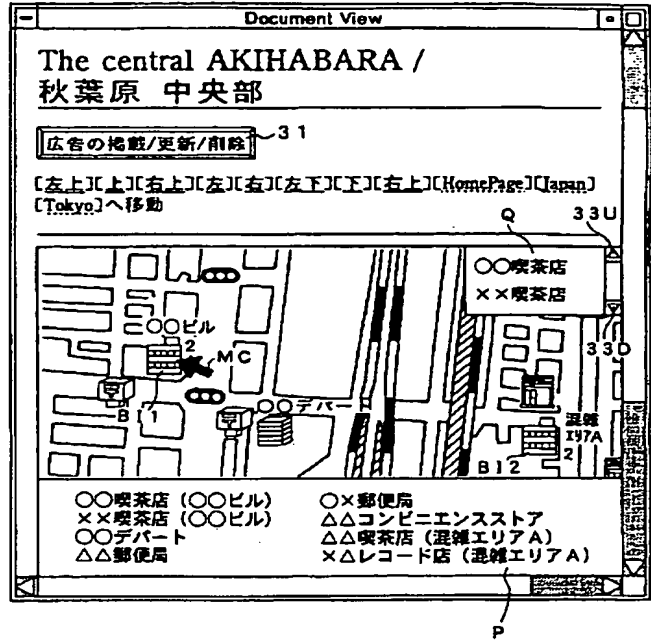
【図14】



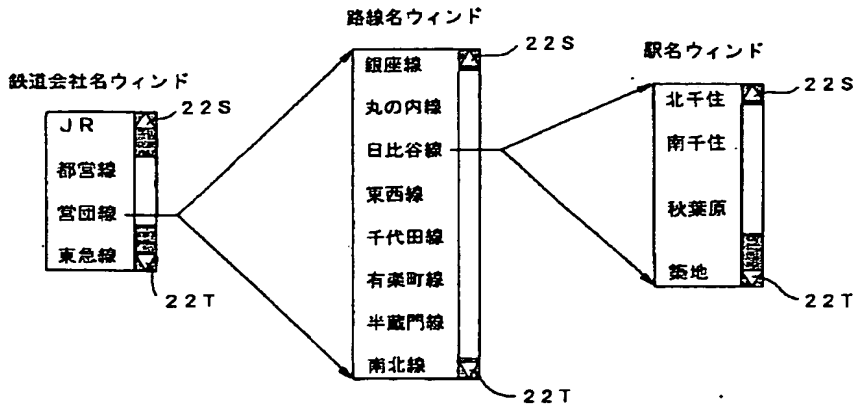
【図15】



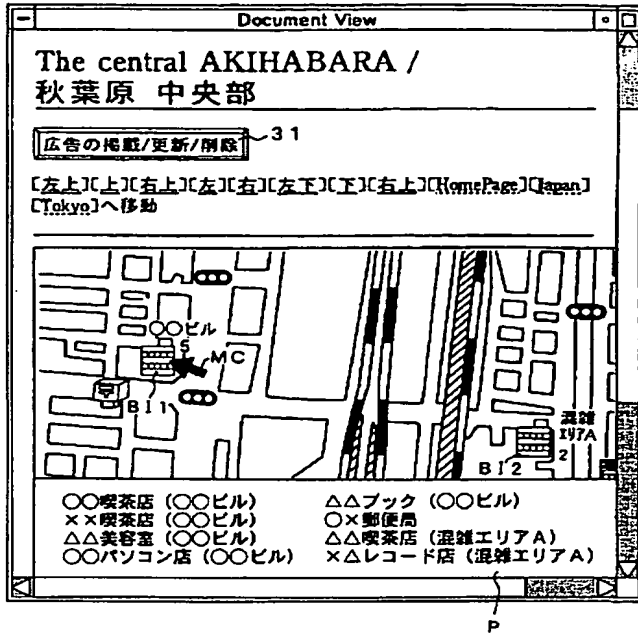
【図20】



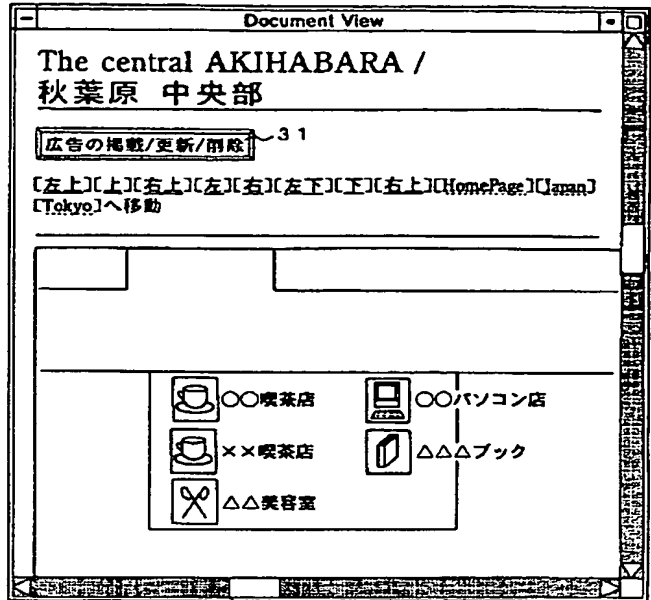
【図17】



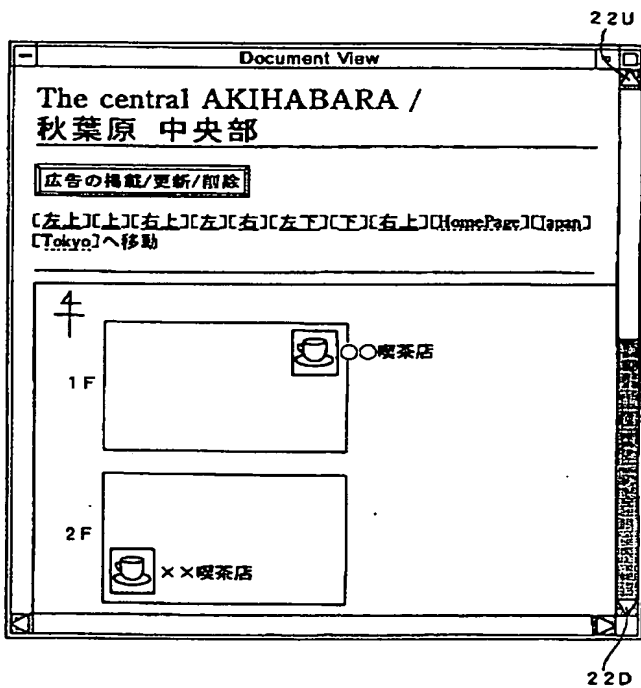
【図 2 1】



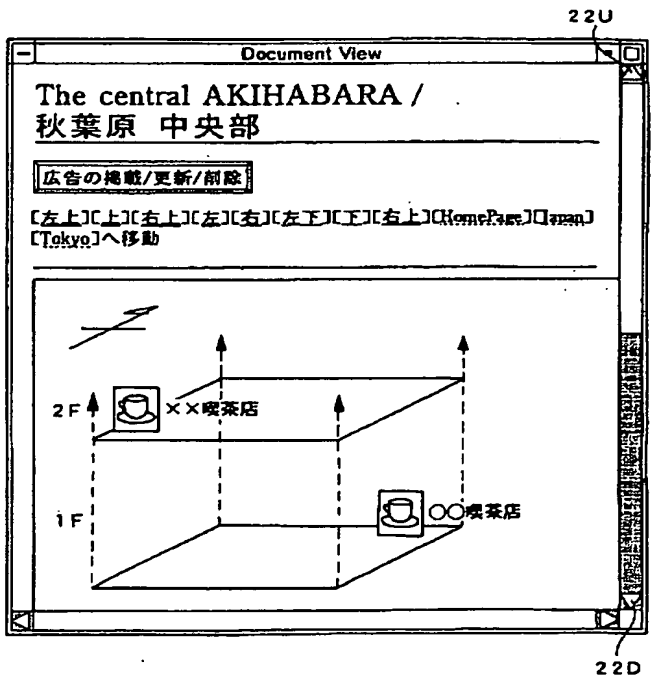
【図 2 2】



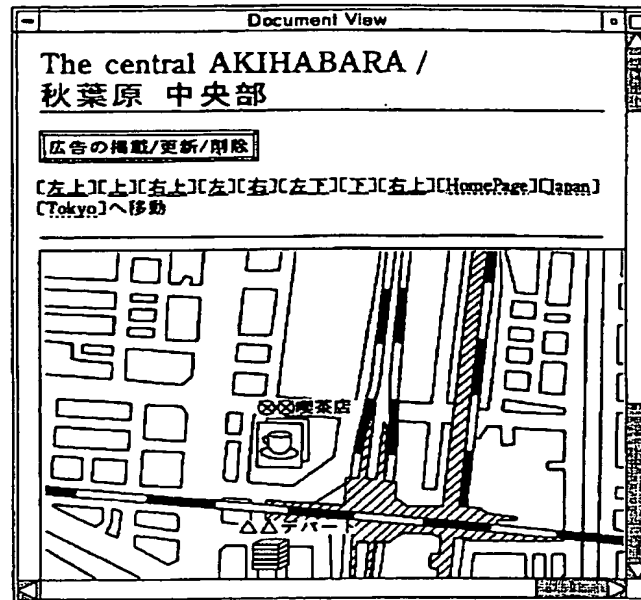
【図 2 3】



【図 2 4】



【図25】



フロントページの続き

(72)発明者 岩永 哲  
東京都台東区台東1丁目5番1号 凸版印  
刷株式会社内

(72)発明者 武田 敏雄  
東京都台東区台東1丁目5番1号 凸版印  
刷株式会社内